

## 万博での仕事家族で誇りに

浜松市天竜区

伊東 優里

(パート 39歳)

夏休み、夫の会社の視察旅行で家族5人で大阪・関西万博に行ってきた。会場に着いてまず驚いたのは、その暑さだ。大屋根リングの下以外はほとんど日なた。早くパビリオンに行きたかったが、熱中症対策で所々で休み、なるべ

く水分を取るようにした。

まずオーストラリアのパビリオンへ。映像も臨場感があつてきれいだったが、印象に残っているのはカフェで食べたクロコダイルロール。日本では味わったことのない味で、子どもたちは苦手だった。それから大屋根リングへ。あまりの大きさにまるで自分が小人になったかのような錯

覚に陥った。リングの上から見る各国のパビリオンもさまざまな形で見応えがあった。途中、夫の会社が施工した場所を見た。たとえ一部でも、世界中の人の目に触れるような仕事をしている父を子どもたちも誇りに思っただろう。

同じように、いろいろな国や地域の人が関わって運営される万博。見たいところがありすぎて1日ではとても回りきれなかった。これを機にまた行こうと思った。

万博での大屋根リングは TV などの映像で見るよりも実際に見た迫力や感動は忘れられない思い出となりました。

普段なかなか知ることのできない会社の取り組みや雰囲気に触れられ、家族としても楽しく参加できました。

日本館の展示は見応えがあり、大人も子どもも楽しめる内容で、万博全体を通じて素晴らしい思い出となりました。

大屋根リングを実際に見たときはとても圧巻でした。

大阪万博という国際的な行事に家族が携わっていることにととても誇らしい気持ちになりましたし、子供にも父親の仕事を見せることができ、とても良い機会となりました。

また、職場の方々と交流を持てたことも、とても良い機会となりました。

おおやま  
りくぐり  
のぼつた  
たのしが来た



バスからおりた時は、とても暑くて日かげがない所は、つらかったけれど、大屋根リングの下は、すずしく、多くの人々が休けいしていました。大阪のたこやきは初めて食べました。わたしが食べたたこやきは、いままでとちがっておいしかった。